



### えほんの紹介

#### 『ぼとんぼとんはなんのおと』

神沢利子 さく 平山英三 え 福音館書店

冬ごもりのあなのなかで生まれた双子のぼうやは、外から聞こえてくる音が何か知りたくてたまりません。「かーん かーんってなんのおと?」「きこりが きを きる おとでしょう。」などの親子のやりとりが、穏やかにくり返されていくうちに、雪の山にもだんだん春の気配がしてきます。「ぼとん ぼとんって なんのおと?」「あれはつららの とける おとよ。」



そして、ようやく春の風が花のにおいをはこんでくると、かあさんぐまはぼうやたちをつれて穴から出て、かたくりの花の咲く春の山へふみ出していきます。

季節の移ろいと春を迎えたよるこびが、柔らかいタッチの絵からあたたかく伝わってきます。

#### 『しょうぼうじどうしゃ じぶた』

渡辺茂男 さく 山本忠敬 え 福音館書店

ある町の消防署には、はしご車ののつぽくんと、高圧車のぱんぷくんと、救急車のいちもくさんがいます。火事があれば、3台で大活躍です。この消防署のすみっこに、古いジープを改良したちびっこの消防車じぶたがいます。でも、出番がありません。

そんなある日、「山小屋が火事です。」と電話! 「しゅつどうだ! いや、道がせまい。じぶただ。たのむぞ!」と署長さん。「プープー プープー」と、サイレンをならし飛び出したじぶた! せまい山道もじぶたなら登れます。さあ、火事は消えたでしょうか? 山火事は防げたでしょうか?

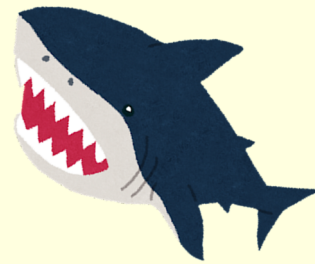


じぶたの活躍は幼い子たちの心をつかみ、大人気のヒーローです。

### 小さなおともだち “子どものころだけだね”

6才のTくんは危険生物が大好きです。Tくんが自分の危険生物図鑑をもってきてくれ、みんなで見ながら、何がきらいか話をしました。図鑑にはハブやハチ、ムカデ、毒のある花ものっています。

すると、Tくんが「保育園にゲジゲジがでてきて、みんなキーキーいってうるさかった」と話してくれました。聞いた人は「えーっ!」「こわくなかった?」「泣いちゃうね」と、Tくんは「おれもこわくて泣いたことある。子どものころだけだね。」と教えてくれました。



### 春の〇×クイズ

- ① さくらの色はピンクか白だけです。
- ② たんぽぽは20個の花の集まりです。
- ③ つくしは食べられます。
- ④ いちごの色は赤だけです。
- ⑤ ウグイスは昆虫を食べません。
- ⑥ 菜の花畑に飛ぶチョウはモンシロチョウです。
- ⑦ テントウム虫は飛ばません。



①× ②× ③○ ④○ ⑤× ⑥○ ⑦○  
 ①× ②× ③○ ④○ ⑤× ⑥○ ⑦○  
 ①× ②× ③○ ④○ ⑤× ⑥○ ⑦○

### 季節のわらべうた

一の二の三  
 二の四の五  
 三の四の五  
 二の四の五



手の指をリズムをつけて歌いながら順に立てて遊びます。なれてきたら、だんだん早くやつてみましょう。まず右手から、次に左手で、両手で...と難易度をあげてやつてみてください。

